

「腫瘍性出血に対する緩和的放射線治療の効果についての後ろ向き研究」

ご協力をお願い

緩和的な放射線治療はがん種を問わずさまざまな症状緩和の一環として実施されています。しかし腫瘍の進行に伴う出血に関しては線量や回数、照射範囲、薬物療法との併用に対してまだ最適な治療法が解明されたとは言えない状況です。

今回当院で過去に緩和的放射線治療を実施した患者さんの治療成績や副作用の状況を解析することで、より良い治療法を開発していきたいと考えております。

もし本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究の方法

当院放射線治療科で2020年4月1日から2026年1月31日に止血目的に緩和的放射線治療を受けられた方を対象とし、以下の項目を解析いたします。研究期間は倫理審査委員会の承認後から、2030年3月31日を目途に解析/発表を行う予定とします。

年齢、性別、疾患名、病期、病理組織診断、放射線線量、放射線治療期間、治療効果、化学療法内容、既往歴、副作用、生死

個人情報の取り扱い

本研究のデータは、インターネット接続のない、入室の管理されている院内のパソコン上でエクセルファイルとして管理します。発表の際は氏名など個人を特定できる個人情報を削除した状態で利用します。

本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

実施施設及び研究者

京都第一赤十字病院 放射線治療科 西村 岳

京都第一赤十字病院 放射線治療科 小谷直広

問い合わせ窓口

〒605-0981 京都市東山区本町15丁目749番地

京都第一赤十字病院 放射線治療科

電話：075-561-1121(代表)

責任研究者 西村 岳